

渡邊代表理事来園 ～部屋を大掃除して頭の中も整理整頓～



毎日練習した伝統舞踊披露

皆様、あけましておめでとうございます。今年も夢追う子どもたちの家をよろしくお願い致します。皆様にとって2016年もより素敵な年になりますように、カンボジアからお祈りしております。

日本は寒い毎日が続いていると思いますが、体調を崩されてはいないでしょうか。カンボジアは乾季に入り、日中は真夏の照りつけるような暑さですが、朝と夜は上着が手放せないような寒い日もあります。しかし、子どもたちは暑さにも寒さにも負けず、毎日本当に元気いっぱいです。

さて、今回のドリーム通信では渡邊代表理事来園の様子と、子ども部屋の整理整頓についてお伝え致します。

渡邊代表理事来園の様子

12月17日に渡邊代表理事が来園しました。園に到着するなり一人ひとりと握手を交わし、「勉強頑張っているか」「大きくなったな」と声を掛けてもらい、子どもたちはとても嬉しそうでした。

今日の日の為に毎晩頑張って練習した歓迎の伝統舞踊と楽器の披露をしました。子どもたちは緊張した様子でしたが、練習の成果を発揮することが出来、踊りも楽器もとても良く出来たと代表理事から大きな拍手をいただきました。

その後は子ども部屋を見学し、部屋で不自由をしている事はないか、どうやって勉強しているのか等の質問をしました。そして子どもが大きくなるに連れ、山積みが増えた子どもたちの荷物を見て、自分の持ち物はしっかりと整理するようにと子どもたちへ指導しました。

その後、今年の新高校3年生7人とMTGを行い、一人ひとりの夢を聞き、卒園後の進路について話し合いました。

「王立プノンペン大学の英語学科に行き、外交官として働きたい。」(ロン・ヴィラー/19歳・男)、「国立経営大学の経営学科に行き、マネジメントを学んで経営者になりたい。」(ソク・パンニャー/17歳・男)、「警察学校へ行き、警察官にな



代表理事にあいさつ



孤児院裏の農園の見学



高校3年生の進路相談

りたい。」(メーン・スレイキアン/17歳・女)、「王立ブノンペン大学の情報学科に行き、ITを学びたい。」(ルン・シム/19歳・男)、「バタンバン州国立看護大学に行き、看護師になりたい。」(コン・ソレン/22歳・女)「国立健康科学大学に行き、医者になりたい。」(チョム・サルーン/19歳・男)、「働きながら自動車修理を学びたい」(クオイ・チャンター/17歳・男)、高校3年生一人ひとりが強く夢について代表理事に宣言しました。

そして、代表理事から一人ひとり進路についてアドバイスをいただき、「夢は強く願えば必ず夢は叶う。夢を叶える為に、毎日一生懸命勉強して、まずは8月の高校卒業試験に合格出来るように頑張る事。私も皆の夢が叶えられるように応援している」と激励の言葉をいただきました。

夢追う子どもたちの家の職員も、毎日子どもたちに寄り添い、それぞれの夢が叶うように一緒に頑張っていきたいと思えます。

子ども部屋の整理整頓

今まで子どもたちの部屋には棚などの収納出来るスペースがなく、洋服は2段ベッド上段に置き、制服はハンガーでベッドの柵に吊るし、教科書や私物はベッド下のスペースに置く等、出来る片付けに限りがありました。

そしてこの度、各子ども部屋に収納スペースを設け、子どもたちに整理整頓する習慣を身に付けてもらう為に、洋服棚と靴棚、ハンガーラックをご寄附で購入させていただき、それぞれの部屋に設置することにしました。

棚が届くと部屋の大掃除が始まりました。部屋の仲間で分担し、協力しながら壁や床など部屋の中を隅々まできれいにし、大量のゴミを部屋の外に出しました。そして、物置きにしていた空きベッドも外に出し、棚とハンガーラックを置くスペースを確保しました。すっきりした部屋に棚を並べ、子どもたちは自分のスペースが出来ると嬉しそうに洋服を棚に並べていきました。

部屋によって、棚の段に名前のシールを貼り、どこが誰のスペースかが一目でわかるようにしたり、棚にタオルを掛けて中が見えないようにしたりと自分たちで考え様々な工夫をしていました。

そして、子ども部屋はどの部屋も見違えるほどきれいになりました。年末の大掃除として気持ちの良い新年を迎えられそうです。

今後もこのきれいな状態を保つ事が出来るように、整理整頓の習慣を身に付け、物を大切に出来る子に育ててほしいと思えます。



皆で部屋を大掃除！



新しい靴棚にサンダルを並べていきます



すっきりと洋服を収納！